学びの広場

松田の小学生スポーツ登録団体②

町のスポーツ登録団体として活動している『小学生スポーツ登録団体』を紹介します

記載内容

団体名
●概要　①種目 ②活動日時 ③活動場所 ④会員数 ・募集について
●活動方針・活動内容　※「登録団体①」は25年11月号に掲載
【体験・入会などの問い合わせ】　教育課生涯学習係　☎(83)7023

松田ミニファイブ

●概要
①バスケットボール
②火曜午後6時～8時
　木曜午後5時～7時
　土、日曜午前8時30分～正午
③松田小体育館　町体育館
④18人・随時募集
●活動方針・活動内容
私たち松田ミニファイブは**「バスケットボールを通してスポーツの楽しさを知り、丈夫な体、協調性、マナーを身につける」**という活動方針のもと、日々の練習に励んでいます。バスケットボールはチームプレーです。プレーを通して相手を思いやる心、協調性が育まれ、さらに**1年生から6年生まで一緒に練習を行うので、希薄になりがちな縦のつながりが密になり、絆が深まっていると思います。**

楽しい仲間がいっぱいです

活動は練習の他に、合宿、バーベキュー、クリスマス会なども行い、部員だけでなく、コーチ・保護者の交流も図っています。
本年度ミニファイブは創立35周年を迎えました。現在20年余り前の卒部生がコーチをしており、また、親子二代にわたり入部されている方もいます。そんなミニファイブをぜひ一度見にいらしてください。

松田体操クラブ

●概要
①器械体操
②木曜午後7時30分～8時30分
③松田小体育館
④24人
・定員制(問い合わせ可)
●活動方針・活動内容
松田体操クラブは、幼稚園の年中から6年生までを対象としたクラブです。**体操を通じてスポーツの楽しさや礼儀、健全育成**を目的に活動しています。

目指すは内村選手、白井選手

特徴的な内容としては**4以の大型トランポリン**を利用し、運動嫌いな子どもでも楽しく体を動かす工夫を行い、**元気な姿と大きなあいさつ**で体育館を明るくしています。また、その他にも、マットや鉄棒、跳び箱などの練習も行い、**学校での体育の時間に模範演枝**ができるようになると、知らず知らずのうちに**積極的な姿勢**が身に付いてきます。
元気で健康な子どもがたくさん増えるように、日々練習していますので、ぜひ一度見学においでください。

松田カンフークラブ

●概要
①中国武術
②月曜午後7時～9時
　水曜午後4時20分～6時30分
③文化センター、町体育館
④17人(うち小学生8人)
・随時募集
●活動方針・活動内容
当クラブは、2000年の夏、町の生涯学習課（当時）の事業を機に誕生しました。
カンフー（中国武術）は力強くスピーディーな動作を特徴とし、瞬発力や柔軟性も鍛えられ、基礎的な運動能力を養うのに適しています。剣や刀など器具（武器）を使うこともありバラエティー豊富です。**武術として心身を鍛える側面**とともに、競技スポーツとして演武するために動きの**美しさ、格好よさを磨く側面**もあります。

演武のときはカラフルな衣装で

当クラブでは、元全日本チャンピオンの指導者のもと、子どもから青年・大人まで、一緒に練習しています。小さいクラブながら**2007年度より毎年、ジュニア全国大会に選手を送り出しています。**
見学・体験は随時可能（事前にご連絡ください）。親子入会も歓迎します。

松田キャッスルズ

●概要
①少年野球（軟式）
②土、日曜午前8時30分～正午
③酒匂川親水広場
④30人
・随時募集
●活動方針・活動内容
松田キャッスルズは、昭和55年創立、野球を通じて**「明るく、元気で、素直な」少年・少女の育成**を目指しています。活動方針としては、低学年には、野球を楽しみながら好きになるよう工夫を凝らし、高学年は技量のレベルアップとチームプレーを重視し県大会で勝てるチームを目指しています。また、**五つの心（「はい」という素直な心、「ありがとう」という感謝の心、「すみません」という反省の心、「おかげさま」という謙虚な心、「わたしがします」という奉仕の心）**を実践できるよう指導しています。野球以外の活動として、地域、福祉活動、イベントへの参加により、人と人のつながりの大切さを学ばせています。
キャッスルズの育成方針を卒団生がわが子に継承させたいと**現在10人が在籍し、親子で一緒に活動に励んでいます。**2000年には県大会で優勝し全国大会に出場しました。指導者の夢である**甲子園球児の輩出**を目指し頑張っています。

親子で一緒に頑張っています

町民大学 16人に修了書

町民の「要求課題」と町や社会が求める「必要課題」を盛り込んだ町民大学が終了しました。全5講座すべてを受講されたのは16人で、最終日に教育長から修了書をお渡ししました。
第1回は、昨年11月にNHKでも放映された「ジョン万次郎の志」、第2回は町民の関心が高く、107人の参加者があった「松田の地震」、第3回は地元の方が豊かな体験を、普段見られない写真をもとにお話しいただいた「魅力いっぱい『南極』」、第4回は第一生命保険(株)所属でロンドン五輪マラソン代表の尾崎好美さんが、講演だけでなくサインや写真撮影にも気軽に応じていただいた「マラソンと私」、第5回は人権週間を前に、身近なことが人権につながることに気付かせてくれた「日常生活の中の人権」を実施しました。来年度も多くの方の受講をお待ちしています。

司会の松田中・齊藤先生と質問に答える尾崎好美さん

松田町大名行列(一)

松田の文化財探訪

《指定文化財とその周辺6》

町文化財保護委員　鈴木一行

8月の「まつだ観光まつり」で行われる伝統行事と言えば、「百八ッ火(ひゃくはって)」と「松田町大名行列(町指定文化財)」を思い浮かべるのではないでしょうか。
百八ッ火の起源は、害虫を駆除して豊作を祈る「虫送り」という行事だと思われます。しかし、「松田城落城の際、城兵を逃すために農民たちが焚いた松明が起源だ」という説などもあります。一方、大名行列は寒田神社祭礼時の行事として、明治8(1875)年頃に始められたものとされています。
さて、松田町大名行列の歴史については、過去幾度となく紹介されてきました。しかし、それらのほとんどは、故井上清氏が昭和57(1982)年から1年間にわたって当広報に載せた「松田の大名行列」を典拠としたものです。

毛槍の投げ渡し

井上氏は、かつて文化財保護委員をされていた方で、現在、氏の論考は『松田の史話』第一集(松田町教育委員会発行)で読むことができます。
ところで、大名行列の〝華〟といえば、やはり「奴振り」でしょうね。奴振りとは、先箱や毛槍などを持つ奴が行う独特の所作のことで、毛槍などを投げ渡す行為もそのひとつです。江戸後期、すでにこのようなことは行われていました。これに対して幕府は禁止令を出すのですが、奴たちの行為はやみませんでした。本来、槍は武威の象徴で、投げて良いはずなどありません。その槍を、人宿と呼ばれた人材派遣業者から仲介された一時雇いの奴が乱暴に取り扱うのです。
奴振りによって華麗になった大名行列は、逆に武家の権威を失墜させていく…。そのような視点で捉えてみると、また違った大名行列が見えてくるとは思いませんか。